

## アジア国際港湾会議

大阪港の発展にご尽力いただいた姉妹港・友好港(6港)と、成長著しいアジア諸港(8港)に大阪港を加えた計15港が一堂に会して、各港が直面する諸課題について、これまで培ってきたノウハウや知見を共有し、さらなる発展を遂げていくために国際会議を開催しました。

また、翌日には、今後とも意見交換や情報共有を通じて、未来に向けた課題解決や各港湾間の協力関係強化を図っていくことの必要性を参加港間で確認する議長総括報告書を発表しました。

- ▶ 実施日時 平成29年7月14日(金) 9:00~12:35
- ▶ 実施場所 ハイアットリージェンシー大阪 サロン・パノラマ(28F)
- ▶ 参加港
  - ◎大阪港の姉妹港・友好港(6港)  
サンフランシスコ港(アメリカ)、メルボルン港(オーストラリア)、ル・アーヴル港(フランス)、上海港(中国)、釜山港(韓国)、サイゴン港(ベトナム)
  - ◎アジア諸港(8港)  
コロンボ港(スリランカ)、ジャワハルラル・ネルー港(インド)、高雄港(台湾)、レムチャバン港(タイ)、マニラ港(フィリピン)、ポートケラン(マレーシア)、タンジュンプリオク港(インドネシア)、ヤンゴン港(ミャンマー)
  - ◎ホスト港 大阪港



アジア国際港湾会議クローズングイベント(各港代表者の集合写真)※釜山港、高雄港は都合により欠席



〈議長〉

**森 隆行** 流通科学大学商学部教授

昭和50年大阪市立大学商学部卒業。大阪商船三井船舶株式会社入社（現株式会社商船三井）。平成18年商船三井退職、流通科学大学教授に就任、現在に至る。タイ王国マエファルーン大学客員教授、大阪市港湾審議会会長、日本海運経済学会常任理事などを務める。主な著書に、『水先案内人』（晃洋書房平成29年）、『新訂外航海運概論』（成山堂書店平成28年）等がある。



〈コメンテーター〉

**篠原 正治** 国際港湾協会 (IAPH) 副会長

昭和53年東京大学工学部土木工学科卒。運輸省港湾局計画課採用。昭和62年スタンフォード大学院工学部土木工学科修士課程修了（工学修士）。国土交通省四国地方整備局次長、財団法人大阪港埠頭公社理事、大阪港埠頭株式会社理事、阪神国際港湾株式会社理事などを務める。平成28年11月に国際港湾協会 (IAPH) 副会長に就任、現在に至る。

